中心市街地活性化基本計画
令和７年度最終フォローアップ報告

令和８年１０月

内閣府地方創生推進事務局

目　次

Ⅰ．中心市街地活性化基本計画 令和７年度最終フォローアップの概要 ……　１ページ

Ⅱ．認定基本計画の計画期間終了後における自己評価等　……　２ページ

(1) 事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る市町村の自己評価

(2) 中心市街地活性化協議会からの評価

(3) 市民からの評価、市民意識の変化

Ⅲ．目標指標の分野別分析結果　……　４ページ

(1) 分野別の達成状況

(2) 事業の進捗状況

(3) 目標達成の状況

(4) 基準値からの改善状況

Ⅳ．事業の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市町村からの報告
……　１０ページ

Ⅰ．中心市街地活性化基本計画　令和7年度最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

○ 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画（以下「認定基本計画」という。）では、中心市街地の活性化に関する目標を掲げるとともに、当該目標の達成状況を的確に把握できるよう、市町村の実情に即した定量的な指標（以下「目標指標」という。）を設定している。

○ 基本計画の認定を受けた市町村（以下「認定市町村」という。）は、計画期間終了後、認定基本計画に関する最終フォローアップを実施し、その結果を公表する。内閣総理大臣は、その報告を受けて内容を公表するとともに、必要に応じて積極的な助言を行い、その成果を基本計画の認定及び中心市街地活性化施策の推進に活用する。

対象とする市町村、計画及び目標指標数

10 市町　10 計画　35 指標　（詳細は P. 10 に掲載）

（令和２年度に５計画、令和３年度に５計画を認定。いずれも終期は令和８年３月末。）

【参考：令和６年度】15 市　15 計画　45 指標

事業の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

○ 35 指標全ての関連事業は概ね予定どおりに進捗完了となった。

○ また、目標達成状況については、基準値（注１）より改善した指標が 24 指標（69%）、うち目標達成に至った指標が 14 指標（40%）であった。

		関連事業が概ね予定どおりに進捗完了した	関連事業が予定どおりに進捗完了しなかった	合計
基準値より改善(注2)		**23指標（66%）** 〔29指標（64%）〕	**1指標（3%）** 〔0指標（0%）〕	**24指標（69%）** 〔29指標（64%）〕
	うち目標達成	14指標（40%） 〔17指標（38%）〕	0指標（0%） 〔0指標（0%）〕	14指標（40%） 〔17指標（38%）〕
	うち目標未達成（基準値以上）	9指標（26%） 〔12指標（27%）〕	1指標（3%） 〔0指標（0%）〕	10指標（29%） 〔12指標（27%）〕
基準値より悪化(注2)		**8指標（23%）** 〔16指標（36%）〕	**3指標（9%）** 〔0指標（0%）〕	**11指標（31%）** 〔16指標（36%）〕
合計		**31指標（89%）** 〔45指標（100%）〕	**4指標（11%）** 〔0指標（0%）〕	**35指標（100%）** 〔45指標（100%）〕

※表中の〔 〕は令和6年度の状況

※各項目において四捨五入しているため合計とは一致しない場合がある

（注１）基準値とは基本計画策定時の設定数値

（注２）目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には、「目標達成」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

Ⅱ. 認定基本計画の計画期間終了後における自己評価等

認定市町村が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、事業が順調に完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかについて自己評価等を行った。以下は、その評価結果を取りまとめたものである。

（１）事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る市町村の自己評価

○ 事業の進捗・完了状況については、「概ね予定通り進捗・完了した」又は「予定通り進捗・完了しなかった」の２区分により評価した。
○ また、中心市街地の活性化の状況については、計画期間を通じた中心市街地の状況の変化等を踏まえ、「活性化した」、「若干活性化した」、「計画策定時と変化なし」又は「計画策定時より悪化」の４区分により評価した。
○ 対象の10市町10計画のうち９計画で、事業が概ね予定通り進捗・完了したと評価している。
○ 対象 10 市町 10 計画のうち全ての計画で、中心市街地の活性化が見られたと評価している。
○ 「予定通り進捗・完了しなかった」要因として、達成状況「b2、c（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）」が目標指標数の過半数に及んだことが挙げられる。

【事業の進捗・完了状況】

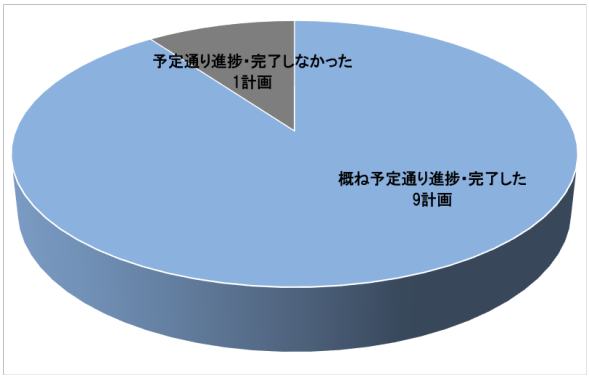
概ね予定通り進捗・完了した	予定通り進捗・完了しなかった
9計画	1計画

【活性化状況】

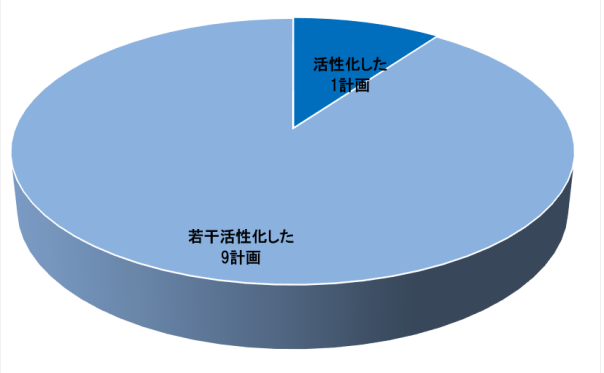
活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
1計画	9計画	0計画	0計画

※本評価は、個別の目標指標の達成状況によるものではなく、事業の進捗・完了状況及び中心市街地全体の活性化状況について、認定市町村が総合的に判断したものである。

【事業の進捗・完了状況】



【活性化状況】



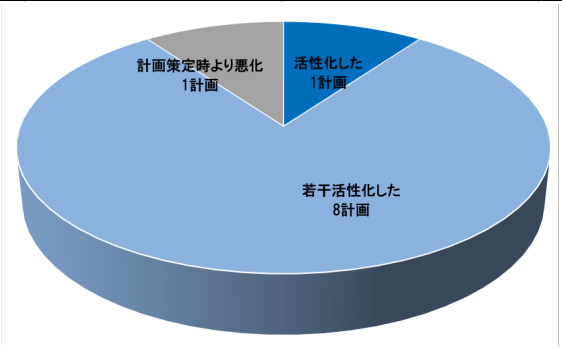
（２）中心市街地活性化協議会からの評価

○ 中心市街地活性化協議会からの評価については、計画期間を通じた中心市街地全体の活性化状況について、「活性化した」、「若干活性化した」、「計画策定時と変化なし」又は「計画策定時より悪化」の４区分により中心市街地活性化協議会として総合的に評価した。

○ 対象の 10 市町 10 計画のうち９計画について、各市町村の中心市街地活性化協議会から中心市街地の活性化が見られたとされている。

○ 悪化の要因として、達成状況「C（基準値に及ばない）」が目標指標数の過半数に及んだことが挙げられる。

活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
1計画	8計画	0計画	1計画

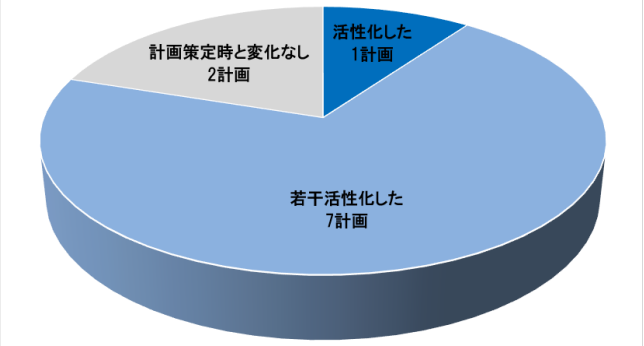


（３）市民からの評価、市民意識の変化

○ 市民からの評価及び市民意識の変化については、計画期間を通じた中心市街地全体の活性化状況について意識調査等により市民の声を聴取し、「活性化した」、「若干活性化した」、「計画策定時と変化なし」又は「計画策定時より悪化」の４区分により市民意識の変化を総合的に評価した。

○ 対象の10市町10計画のうち８計画について、各市町村の市民から中心市街地の活性化が見られたとされている。

活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
1計画	7計画	2計画	0計画



Ⅲ. 目標指標の分野別分析結果

認定市町村が最終フォローアップを行った目標指標を５分野に分類し、各分野の関連する事業の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

（１）分野別の達成状況

分野別の集計結果

○ 認定市町村が最終フォローアップを行った目標指標に係る関連する事業の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、５つの目標指標分野別に集計を行った。

＜目標指標に係る関連する事業の進捗・完了状況及び目標達成の状況＞

達成状況	全体（割合）	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
A	14 (40%)	8	1	5	—	—
a	0 (0%)	0	0	0	—	—
B1	4 (11%)	0	2	2	—	—
b1	0 (0%)	0	0	0	—	—
B2	5 (14%)	2	1	2	—	—
b2	1 (3%)	0	1	0	—	—
C	8 (23%)	6	2	0	—	—
c	3 (9%)	3	0	0	—	—
合計	35	19	7	9	—	—

＜達成状況の分類＞

A　目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
a　目標達成（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
B1　基準値から目標値までの幅の８割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
b1　基準値から目標値までの幅の８割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
B2　基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の８割ラインには及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
b2　基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の８割ラインには及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
C　基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
c　基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
※目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標について、目標値と比較して数値が大きい場合には、「A、a」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「B1、b1、B2、b2」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「C、c」としてそれぞれ算出する。

＜目標指標分野と主な目標指標例＞

目標指標分野	主な目標指標	主な事業例
①にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、 公共公益施設利用者数、宿泊客数　等	市民・文化施設整備、イベント開催、回遊促進事業、 複合施設・公園・駐車場整備　等
②街なか居住の推進	居住人口、居住人口の社会増加数、市 全体に占める中心市街地の居住人口の割合　等	居住環境整備（土地区画整理、集合住宅整備等）、 移住相談・移住費助成、子育て支援・高齢者福祉施設整備　等
③経済活力の向上	新規出店数、空き店舗数、創業・起業数、 商店街の営業店舗数　等	新規出店・起業支援（家賃助成、改修費助成等）、創業セミナー開催、 空き店舗マッチング支援、チャレンジショップ支援、コワーキングスペース運営支援　等
④公共交通の利便の増進	公共交通機関利用者数、自動車分担率	駅前大通りの再整備、公共交通機関100円利用ICカード発行事業、 シェアサイクル事業、パーク・アンド・ライド事業　等
⑤その他	上記①～④以外の目標指標　（例）「中心市街地エリアに魅力を感じる市民の割合」、「中心市街地の健康な高齢者の割合」等	

（２）事業の進捗状況

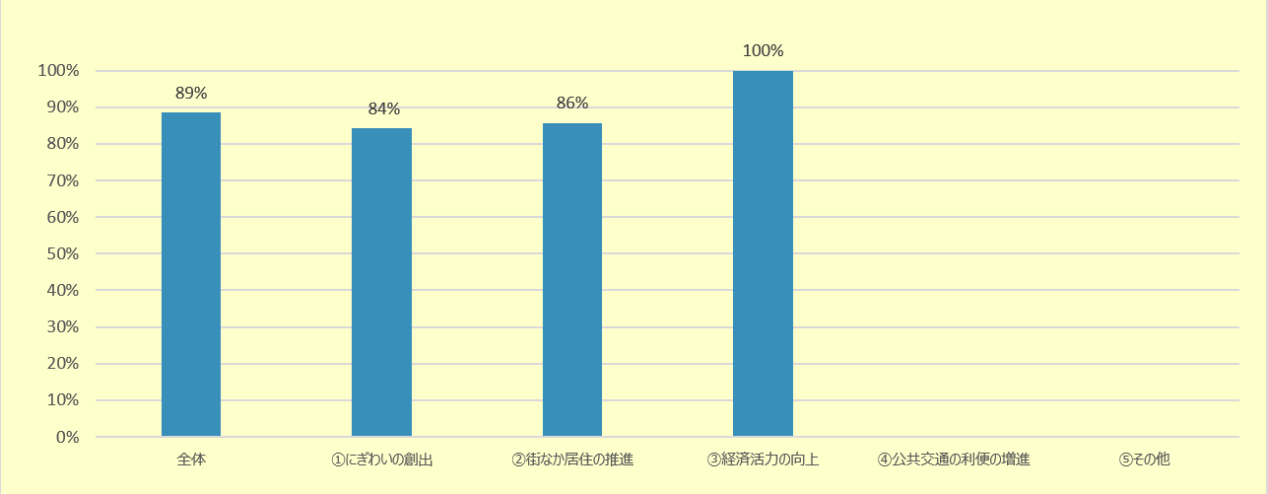
関連する事業の進捗状況に関する分析結果

○「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」に関する取組が順調な割合は全体の割合を下回るものの、「経済活力の向上」では全ての事業が順調に推移している。

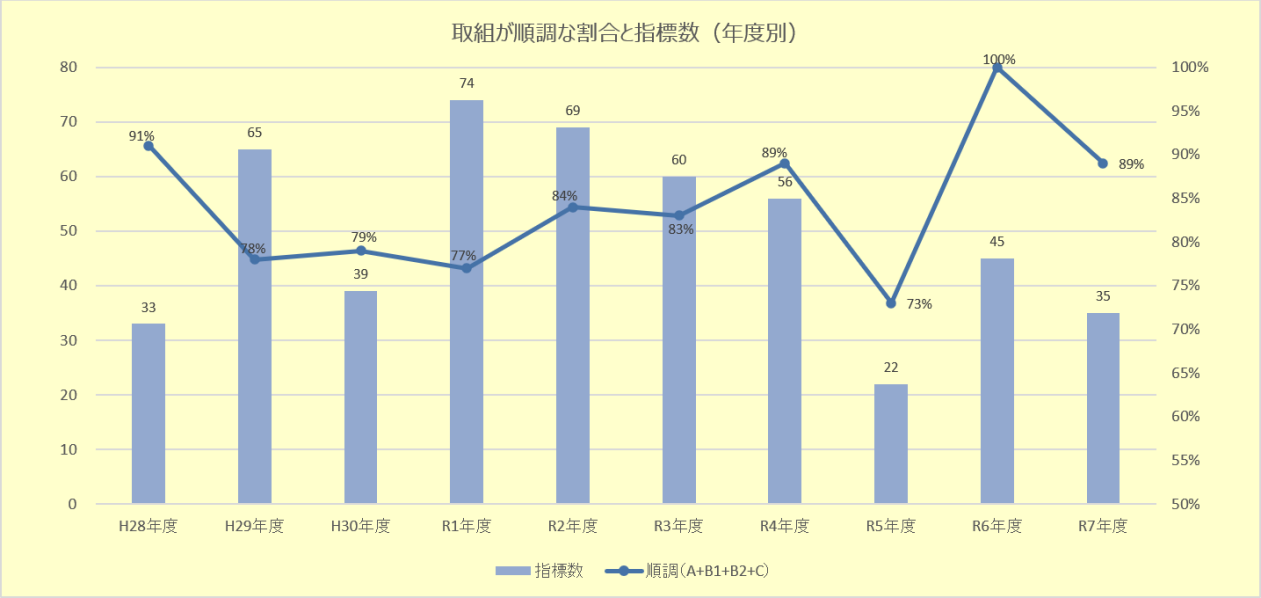
＜各目標指標分野の事業の進捗状況の割合＞

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
順調(1) (A＋B1＋B2＋C)	31	16	6	9	—	—
順調でない(2) (a＋b1＋b2＋c)	4	3	1	0	—	—
合計(3) (3)=(1)+(2)	35	19	7	9	—	—
事業が順調な割合 (1)/(3)	**89%**	**84%**	**86%**	**100%**	—	—

＜目標指標分野別の事業が順調な割合（A+B1＋B2+C）＞



＜参考：年度別の事業が順調な割合と指標数＞



（３）目標達成の状況

目標達成状況に関する分析結果

○ 目標を達成した目標指標は、14指標で全体の**40%**である。（令和６年度 38%）

○ 「にぎわいの創出」及び「経済活力の向上」の目標達成率は、全体の割合を上回っており、一定程度、事業の効果が発現していると考えられる。

○ 一方、「街なか居住の推進」については、新型コロナウイルス感染症を契機とするライフスタイルの変化や原材料費や人件費等の高騰による施設整備事業の遅れ、過大な目標設定などが影響し、全体の割合を下回っている。

＜各目標指標分野の目標達成状況＞

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
目標達成(1) (A+a)	14	8	1	5	-	-
未達成(2) (B1+b1+B2+b2+C+c)	21	11	6	4	-	-
合計(3) (3)=(1)+(2)	35	19	7	9	-	-
目標達成率(4) (1)/(3)	**40%**	**42%**	**14%**	**56%**	-	-
概ね目標達成(5)※ (A+a+B1+b1)	18	8	3	7	-	-
概ね目標達成率(6) (5)/(3)	51%	42%	43%	78%	-	-

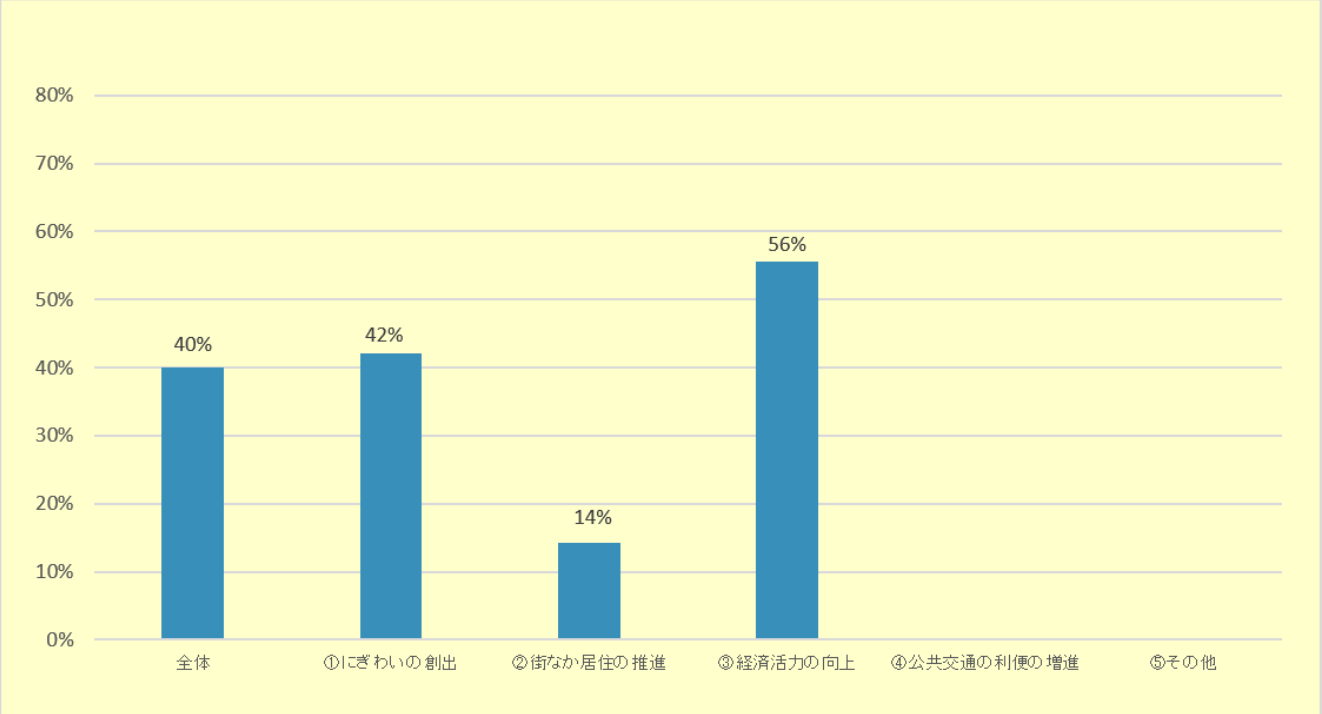
※概ね目標達成の基準は、基準値から目標値までの幅の80%を超えるものとする

○ 目標が達成できなかった21指標の主な要因は、次のとおりである。

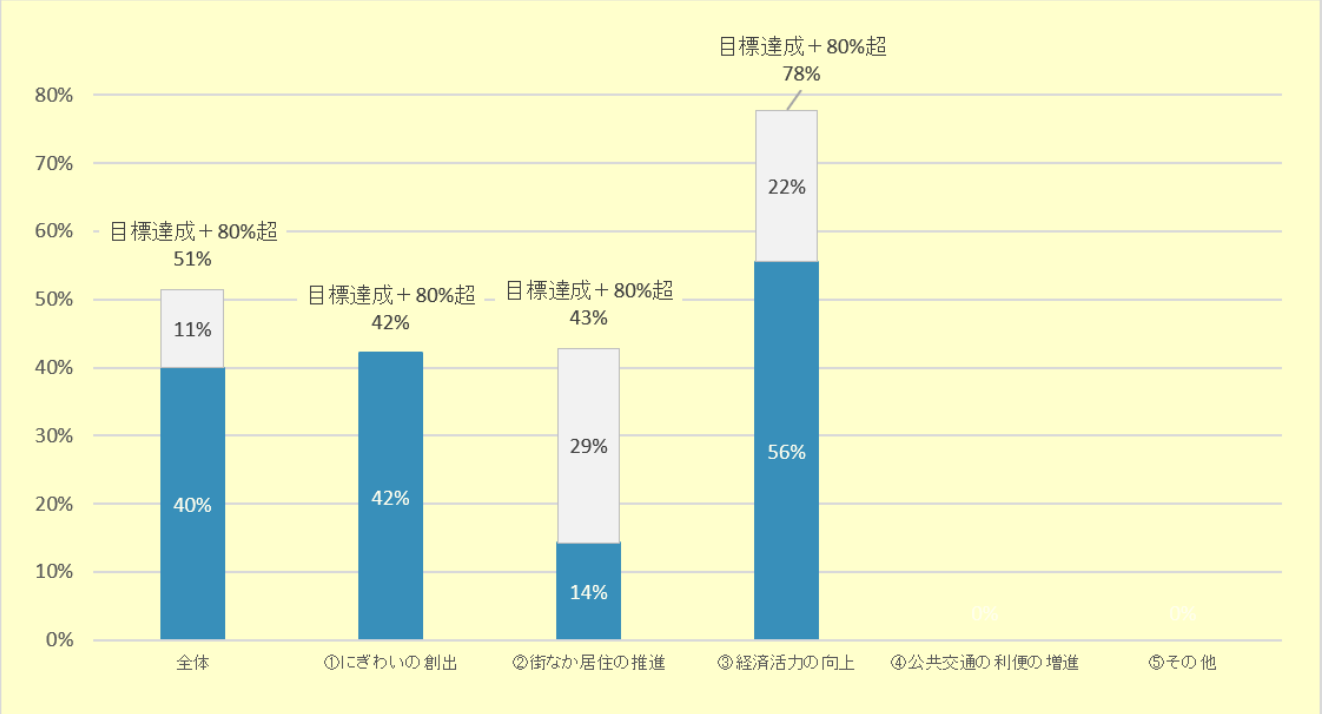
ア 中東情勢の影響を受けた原材料費や人件費の高騰等に伴い事業費が増加し、事業の遅延が生じたことで、目標指標の達成に影響を与えた。
こうした影響により、再開発事業等の進捗が想定を下回り、当該事業による波及効果の発現が遅れる事例が見られた。

イ 新型コロナウイルス感染症を契機としたライフスタイルの変化による来街者数や歩行者通行量の回復の遅れが、目標指標の達成に影響を与えた。
感染症終息後も、在宅勤務やオンラインショッピングの定着等を背景として、来街者数や歩行者通行量の回復が想定を下回る傾向が見られた。

＜目標指標分野別目標達成率の比較＞



＜目標達成と概ね目標達成（80%超）の割合＞



（４）基準値からの改善状況

基準値からの改善状況に関する分析結果

○ 現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している目標指標は、全体の**69%**である。（令和６年度 64%）

○ 「街なか居住の推進」及び「経済活力の向上」に関係する目標指標は、全体の割合を上回っている。

○ 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルス感染症は終息したものの、感染拡大前までの数値に回復するまでに留まったことや物価高騰による購買意欲の低下などが影響し、全体の割合を下回った。

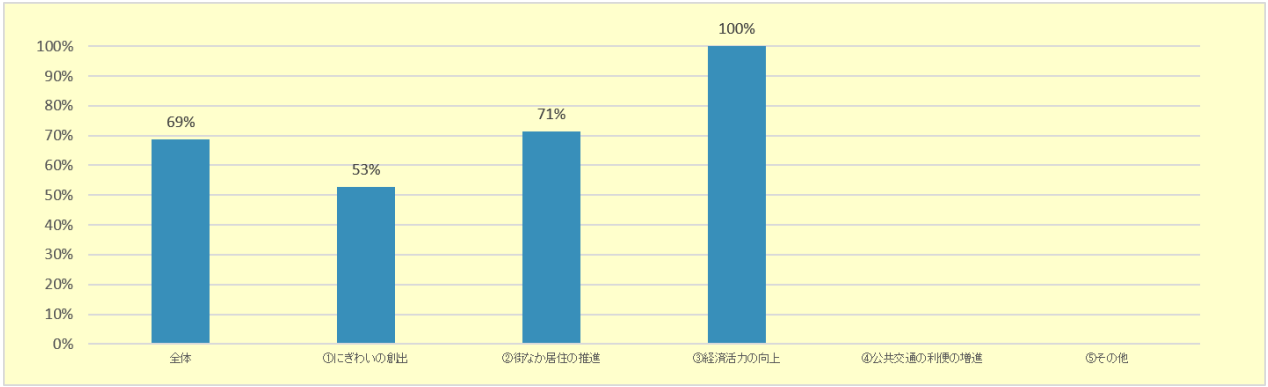
○ 在宅勤務やオンラインショッピングなど、コロナ禍に変化したライフスタイルは新型コロナウイルス感染症終息後も続いており、外出する機会が減少していると考えられる。

＜各目標指標分野の改善状況＞

		全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
基準値より改善(1)（注１） (A+a+B1+b1+B2+b2)		24	10	5	9	-	-
基準値より悪化(2)（注１） (C+c)		11	9	2	0	-	-
合計(3) (3)=(1)+(2)		35	19	7	9	-	-
基準値改善率 (1)/(3)		**69%**	**53%**	**71%**	**100%**	-	-
上記のうち、事業の進捗完了が予定どおりだったもの	基準値より改善(4)（注１） (A+B1+B2)	23	10	4	9	-	-
	基準値より悪化(5)（注１） (C)	8	6	2	0	-	-
	合計 (6)=(4)+(5)	31	16	6	9	-	-
	基準値改善率 (4)/(6)	74%	63%	67%	100%	-	-

※関連する事業の進捗状況及び目標達成状況の分類（P４参照）のうち、「現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している」ものは、A、a、B1、b1、B2及びb2が該当する。

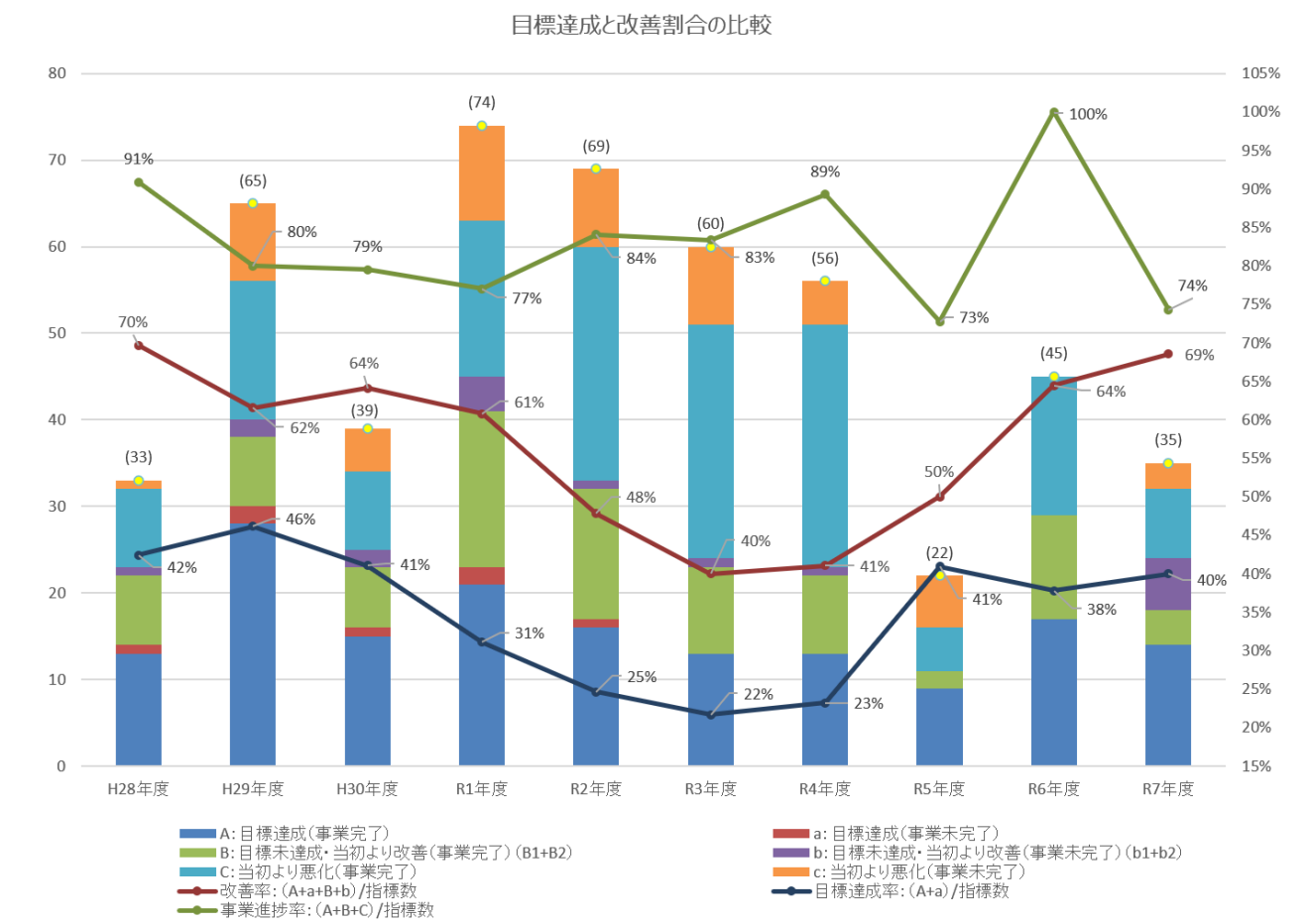
＜目標指標分野別基準値改善率の比較＞

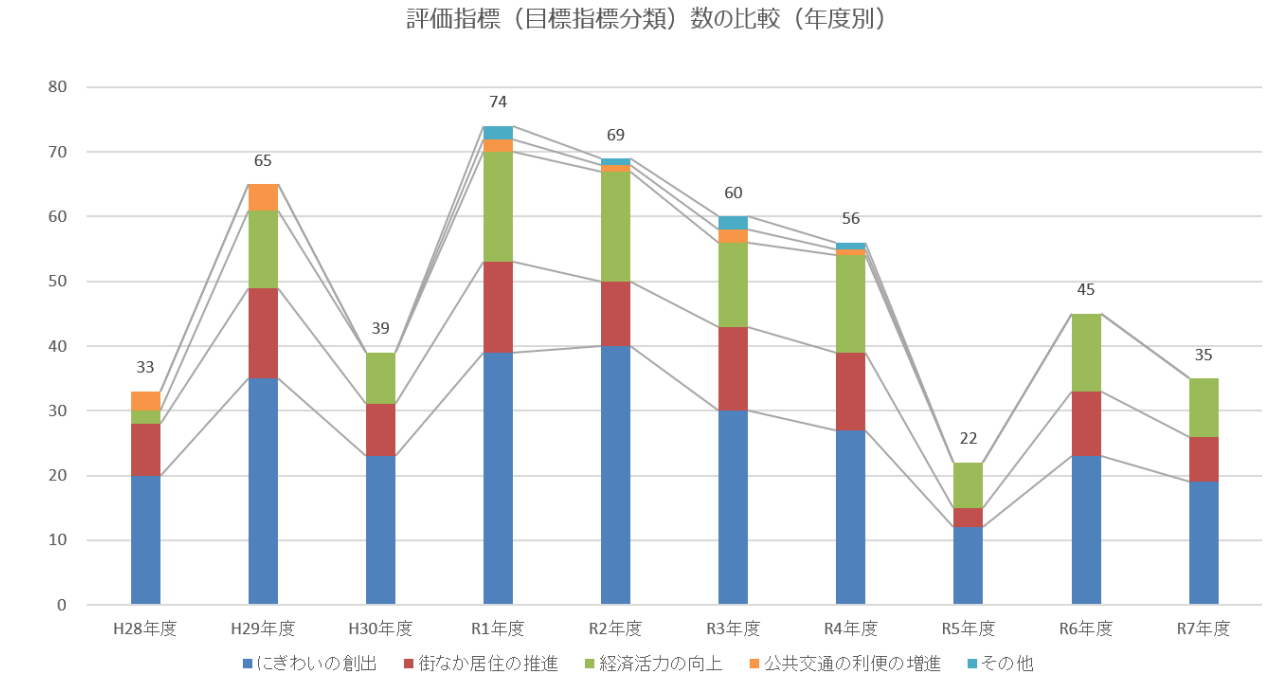


（注１）目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

評価指標数と目標達成状況の比較

○ 令和７年度末時点で、累計153市４町307計画の中心市街地活性化基本計画が認定を受け、そのうち149市３町255計画について、計画期間終了後に最終フォローアップ報告書を作成している。最終フォローアップ報告書における、各計画の評価指標（目標指標分類）数と目標達成状況の推移は以下のとおり。





Ⅳ. 事業の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市町村からの報告

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	分野	単位	基準値	目標値	最新値	達成状況	進捗・完了状況	活性化状況		
											自治体評価	中活協議会評価	市民評価
令和2年3月30日認定 【計画期間：令和2年4月～令和8年3月（6年0か月）】													
長崎県	長崎市	雇用の場の創出	中心市街地の新規雇用者数	③	人	893	1,500	1,461	B1	○	B	B	B
		交流の産業化による消費の拡大	中心市街地の年間延べ宿泊客数	①	人	1,699,434	1,997,000	2,143,078	A				
		市民生活の利便性向上	1日当たりの歩行者通行量（平日）	①	人	61,997	65,300	41,966	C				
			1日当たりの歩行者通行量（休日）	①	人	60,896	64,000	44,132	C				
兵庫県	川西市	恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量	①	人	44,177	46,547	48,369	A	○	A	A	A
			中心市街地の居住人口の社会増	②	人	126	194	187	B1				
		魅力ある場所や活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業者数	③	人	4	22	51	A				
			新規出店数	③	店	5	30	49	A				
令和2年6月30日認定 【計画期間：令和2年7月～令和8年3月（5年9か月）】													
長野県	飯田市	美しい丘のまちのデザインづくり	歩行者・自転車通行量（休日）	①	人	9,475	10,400	5,328	C	○	B	B	C
		丘のまちの居場所・交流空間づくり	都市福利施設利用者数（年間）	①	人	209,214	214,800	283,185	A				
		丘のまちの快適な暮らし創造	新規出店数	③	店	3	5	6	A				
		丘のまちの新たな価値創造	文化・交流施設利用者数（年間）	①	人	284,094	299,600	321,214	A				
令和2年10月30日認定 【計画期間：令和2年11月～令和8年3月（5年5か月）】													
山形県	山形市	賑わいの創出	歩行者通行量（休日）	①	人	22,399	22,575	25,383	A	○	B	B	B
		新規出店の誘導	新規出店数	③	件	46	95	47	B2				
		居住環境の向上	転入者数	②	人	4,543	4,787	5,183	A				
愛媛県	松山市	来街者の回遊性向上による賑わいの創出	中央商店街の歩行者通行量	①	千人	49	50	35	C	○	B	D	C
		観光コンテンツの充実による満足度の向上	観光施設利用者数	①	千人	1,845	1,974	1,998	A				
		高質で豊かな居住環境の形成によるコンパクトシティの推進	居住人口の社会増減数	②	人	308	561	253	C				
令和3年3月30日認定 【計画期間：令和3年4月～令和8年3月（5年0か月）】													
熊本県	益城町	地域固有の魅力を活かした新たな活動の創出	新規事業開始件数	③	件	5	12	26	A	▲	B	B	B
		中心市街地内での回遊行動の創出	歩行者・自転車通行量（平日・休日平均）	①	人／日	2,600	3,400	1,795	c				
		中心市街地内生活人口の増加	中心市街地居住人口	②	人	6,108	6,500	6,225	b2				
山形県	長井市	都市機能の充実	各施設利用者数	①	人／年	128,756	201,700	319,148	A	○	B	B	B
		まちなかの回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量（平日・休日の合計）	①	人	2,125	2,300	1,400	C				
		賑わいの創出	空き地・空き店舗解消数	③	件	0	25	24	B1				
三重県	伊勢市	商業の活性化とまちなか回遊性の向上	歩行者通行量	①	人	3,943	4,140	3,204	C	○	B	B	B
			新規出店数	③	店	50	55	55	A				
		都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住の促進	中心市街地の居住人口の社会増減	②	人	△177	0	△14	B1				
		観光の取組による中心市街地のにぎわい向上	観光関連施設等の利用者数	①	人	49,337	53,300	54,213	A				
岐阜県	大垣市	観光・交流拠点の活用や商業機能の再生による「にぎわいの創出」	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量	①	人	15,510	16,000	11,126	c	○	B	B	B
		都市基盤の推進による「まちなか居住の推進」	中心市街地の社会増減数（平均）	②	人	45	155	30	C				
		中心市街地の商業再生による「空き店舗の解消」	商店街振興組合連合会内空き店舗数	③	店	27	17	21	B2				
岡山県	倉敷市	歴史的・伝統的資源を活用したまちの魅力向上	町家・古民家再生活用件数	①	件	39	45	9	c	○	B	B	B
		便利で快適な営みのあるまちなかの形成	居住人口	②	人	7,507	8,000	7,674	B2				
		人が集い、交流するまちなかの形成	歩行者・自転車通行量	①	人／日	57,440	124,000	93,806	B2				
			来街者の平均滞留時間	①	分	98	111	100	B2				

＜各目標の達成状況＞（市町村評価）

A　目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
a　目標達成（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
B1　基準値から目標値までの幅の８割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
b1　基準値から目標値までの幅の８割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
B2　基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の８割ラインには及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
b2　基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の８割ラインには及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
C　基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
c　基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）

＜分野（目標指標分野）＞

① にぎわいの創出
② 街なか居住の推進
③ 経済活力の向上
④ 公共交通の利便の増進
⑤ その他

＜事業の進捗・完了状況＞（市町村評価）

○ 概ね予定通り進捗・完了した
▲ 予定通り進捗・完了しなかった

＜活性化状況＞（市町村評価、中心市街地活性化協議会評価、市民評価）

A 活性化した
B 若干活性化した
C 計画策定時と変化なし
D 計画策定時より悪化